

## IV. チェルノブイリからの見学者

平成5年にはチェルノブイリからの見学は4回であった。

### 1. 2月25日

チェルノブイリ原発事故医療専門家が10名。モスクワから内分泌学と血液学，ミンスクから腫瘍学，オブニンスクから医療放射線学，ウクライナから情報処理登録の専門家であった。

### 2. 8月13日

ゴメリ州立予防専門センター（小児内分泌科），モギリョフ州立医療診断センター（統計プログラマー），コロステン診断センター（超音波検査技師），キエフ州立診断センター（超音波検査技師）の4名。

### 3. 10月5日

ロシア連邦生物物理学研究所から放射線疫学臨床部長と血液学・骨髄移植部長の2名。

### 4. 12月13日

ロシア医学アカデミー内分泌センター，ブリアンスク州立病院，ミンスク放射線医学研究所，ウクライナ内分泌研究所，ウクライナ放射線医学研究所から6名。

以下の要領で対応し，原爆の被害や健康影響について意見交換を行った。

- 1) 資料センターの概要説明
- 2) 見学：展示室，臓器室，組織室，コンピュータ室
- 3) レクチャー1：「長崎における原爆の影響」
- 4) レクチャー2：「長崎における被爆者の死亡率」
- 5) 質疑応答